【情報公開文書】

心不全患者に対するナラティブアプローチを併用した目標立案ノートの不安・抑うつ改善やQOL向上の効果

1．研究の対象

2021年4月1日から2023年3月31日までの間に、当院第二病棟4階（循環器内科）に入院し、心臓リハビリテーション（以下、心リハ）を行った心不全の方。かつ、入院中に不安・抑うつの測定（HADS）を行なった方。

2．研究の目的・方法

心リハ対象疾患の心理的症状として、抑うつや不安の上昇、QOL低下等があり、その対策として心理的介入が有効であると報告されている為、当院では「ナラティブアプローチを用いた自分史の振り返り」を取り入れています。ナラティブアプローチとは、患者の語りに着目して問題解決を図るカウンセリング手法のことで、生活や希望に即した患者目線の生活目標立案までの流れを円滑にするための目標立案ノートと併用して導入しています。本研究は、当院へ入院し、心リハを行なった心不全患者を対象に、ナラティブアプローチを併用した目標立案ノートを導入することで、不安・抑うつの改善やQOL向上に寄与するかを明らかにすることを目的としています。その比較として、2021年4月1日から2023年3月31日までの間に、当院へ入院し心リハを行った心不全の方のデータを使用したいと考えています。

研究実施期間：研究実施許可日～2026年3月31日

利用又は提供を開始する予定日：2024年1月22日

3．研究に用いる資料・情報の種類

電子カルテからの情報をもとに、年齢、性別、家族構成、ADL、生活状況、既往歴、疾患名及び重症度、心不全のステージ、罹患年数、在院日数、リハビリテーション実施内容、不安・抑うつ測定（HADS）等のデータを用いて解析いたします。

情報収集の際には個人が直ちに特定される氏名や生年月日が含まれないような状態でデータを取り扱い、解析で用いる情報は統計的に処理し個人が特定されないようにいたします。

4．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等ありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒010-8543 秋田市広面字蓮沼 44-2
秋田大学医学部附属病院　心大血管リハビリテーション室
TEL：018-884-6372　FAX：018-884-6354
研究責任者：安杖沙織（一般外来）